



おすぎ

はじめての
スクリーンX
楽しかった

こんにちは、おすぎです。
いかがお過ごしでしょうか？スクリーンXを初めて体験しました！の話です。



スクリーンXを初めて観ました。「スクリーンX」は、正面のスクリーンと、左右の壁にも映像が投影される3面マルチプロジェクション上映システムです。中部地方にはなかったので、名古屋にできると聞いたときは、もしかしていつかキンプリのスクリーンXが観れるのでは？とワクワクしていました。そしてついに愛知に、109に、キンプリのスクリーンXがやってきました！初めての体験で没入感があって楽しかったです。スクリーンX用に作られているので、新たな発見があったり、とにかく楽しかったです。私は後の方の席が楽しかったです。前の方の席はキョロキョロしてしまって少し疲れました（正直レビュー）。気になっている方は一度体験してみたいです。まだこの地方にはないですが「ULTRA 4DX」も体験してみたいです。4DXとスクリーンXを融合した体感型シアターだそうです。ここまでくるといよいよテーマパークのアトラクションですが、絶対楽しいだろうと思います。名古屋に出来てくれないかなあ。

スクリーンXや4DXも良いですが、名古屋駅前のミッドランドスクエアシネマの「粋」も良いですよ！「至高」と「鼓動」があるのですが、私は「鼓動」が好きです。体に音が響く、強烈な重低音はたまりません。音が全然違う！とびっくりします。と語りますが、観ているのはほぼ同じ映画です。そういうことがありますよね。



今年の誕生日会です

今回の学び 設備でこんなに変わるんだなあ

アジアを代表するデュオ

CHAGE vol.9
and ASKA



おが

今回は、スポーツの話。ASKAは、長年剣道を続けている本格的な剣士であることはファン界隈では有名な話です。高校時代には剣道部に所属し、インターハイに出場するほどの実力。しばらくの間は音楽に専念していたものの、最近また剣道を再開し、現在は四段から五段の腕前を持つんです。ライブパフォーマンスでもバク転などのアクロバティックな姿を披露するのでそのギャップにみんな驚きます。チャゲはムードメーカー的存在なのでライブではトークやMCを盛り上げて楽しませてくれます。



今回はASKAは剣道もやってるだーwと記憶の片隅に置いてもらって、せっかくのスポーツの秋なので『ヤットコサッカー』を紹介したいなと思います。『ヤットコサッカー』知ってますか？名古屋市緑区の学童保育で行われている独特の遊び・スポーツで、12月には緑区の学童が集結して大会も行われるんです。緑区の学童では、この時期からマイヤットコを手作りして、めっちゃくちゃ練習します。初めは両手で乗る練習を始めますが、片手試験に合格すると、片方の持ち手を切ってもらうことができます。これに乗るだけでも低学年は大変なんですけど、2年生にもなればこれに乗ってゲート



ボールの球を蹴って飛び跳ねてサッカーをします！！何より、初めて見る人は、これに乗って、20センチぐらい飛び跳ねながらセンターラインに高速で詰め寄っていき、ヤットコとヤットコがぶつかりあう姿を見て度肝を抜かれます。試合も白熱しすぎるので観客の大人が怒られる始末・・・竹馬みたいな「ヤットコ」、どこかで出会う機会があったらぜひ乗ってみてください！



彼岸花の咲く頃～



10月3日撮影

といえば九月(中～下旬)のはずが
2025年は残暑のせいか10月またぎ



自宅の最寄り駅、名鉄小牧線味岡駅前
毎朝、自転車通勤でも、
雨の日は電車通勤でも通る道
ヒガンバナの名所は
いっぱいあるけれど…
やっぱ地元のがいいね



平田



よもやまばなし

★霜月：竜胆の間★

今年もしっかり暑さが続きましたね。5月にいきなり夏日到来で「春夏夏夏夏秋冬冬冬冬冬」——まるで四季の主役は夏のように。ようやく秋の風が心地よくなったと思えば、すぐに上着が恋しくなる季節。上着なしで楽しめる秋は、本当にあっという間です。早めに掃除ではじめますか？年末の足音もすぐそこに。

もう11月になっちゃいました…

11月にも色んな記念日だとか行事があるよね。例えば11月3日の「文化の日」、11月23日の「勤労感謝の日」変わり種では「11月11日ポッキー&プリッツの日」なんてのもある。ポッキーを数字の「1」に見立てた江崎川口渾身の記念日だね。

11月で忘れていけないのは「七五三のお祝い」だろうか。日本伝統の行事の一つだね。我が3番目の孫も今年3歳になる。「三つ子の魂百まで」って言葉があるように、今とても重要な時間を過ごしているんだよね。じーちゃん、健やかな優しい子に育って欲しいと切に願っているのです。

「七五三」は、子どもが3歳・5歳・7歳を迎えた年の11月15日に、住んでいる土地の氏神様に「子どもの健やかな成長を祈願する」ちゅー行事。3歳と5歳で男の子、3歳と7歳で女の子ってのが一般的だけど、地域や考え方によっては男女問わず3歳・5歳・7歳のときにやられてケースもある。医療が発達していなかった昔は「七歳までは神の子」といわれるくらい子どもの死亡率が高かったんで、とにかく子どもが無事に成長できますようにってお祈りする儀式は必然だったんだね。

平安時代には、男女問わず生後7日目に髪を剃って3歳までは丸坊主。そんで3歳になると、髪のもと長寿を願い「白髪」をイメージした白い綿糸などを頭上に置いてお祝いする「髻置(かみおき)の儀」をして、赤ちゃんを卒業するってゆー儀式をしたってのが3歳を祝うようになった起源らしい。そして、5歳の男の子の場合は「袴着(はかまぎ)の儀」で、5歳になった男の子が正装である袴を身に着ける儀式。それから7歳の女の子の場合は「帯解(おびとぎ)の儀」で、7歳になる女の子が、子ども用の紐付きの着物を卒業して、大人と同んなじ帯を締めて着物を着ることをお祝いする儀式が起源になっているんだそーな。

いずれにしても子を思う親の気持ちは、古くから変わらない。子供達よ！みんな健やかで、穏やかな優しい子に育ってくれよー！

